

久しぶりに奈良の春日山原始林に出向いたのをきっかけに、春日大社でおなじみのナギについての覚書を整理してみました。

1. 別名 チカラシバ、センニンリキ
2. 葉は対生、全縁、平行脈、**針葉樹**だが広葉樹のような葉型である。
3. イチョウなどと同じ**裸子植物**である。
4. 雌雄異株
5. 花期は5～6月
6. 春日大社のほか、熊野速玉大社のご神木である。
7. 春日大社境内のナギ純林のように自生しているところは他にないので天然記念物に指定された。(大正12年)
8. このナギ林がもともとここに自生していたかについては疑わしく、1200年くらい前に、春日大社へ献木されたものが広がったとする説が一般的であるようだ。
9. シカはナギを食べない。
10. ナギの根や幹からはがれた樹皮から土の中に染み出た化学物質の**ナギラクトン**という**アレロパシー物質**が他の植物の成長を抑制する働きがあり、他の樹木の生育に適さないフィールドになる。
11. **マキ科植物**は日本にはイヌマキとナギの2種しかない。
12. 海の風に通じるところから、航海の平穩を祈るご神木となっていることが多い。
13. **参考**
 - ①イヌマキは5～6月に開花、裸子植物で雌雄異株
 - ②細長いつやのある葉
 - ③雌木に赤い果托と白緑色の実がつき、前者は食べられる。
 - ④**コウヤマキ**はコウヤマキ科1属1種、イヌマキと対比して、別名**ホンマキ**とも呼ばれる。
 - ⑤**木曾五木** (コウヤマキ、ヒノキ、ヒバ (アスナロ)、クロベ (ネズコ)、サワラ) のひとつ。



ナギの葉



ナギの雄花



ナギの雌花



ナギの果実



イヌマキの果実



コウヤマキ

以上